

R. I. District 2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2012-2013年度 RI会長 田中 作次

2012-2013年度 魚津RC会長 野澤 良成



第2837回 例会報告

2012年8月21日

ガバナー公式訪問

魚津・魚津西・滑川RC合同夜間例会(於: ホテルグランミラージュ)

開会点鐘

国歌斉唱

ロータリーソング「それでこそロータリー」



ゲスト並びにビジターの紹介

国際ロータリー第2610地区ガバナー 中尾哲雄 様

国際ロータリー第2610地区ガバナー補佐 植木真人 様

国際ロータリー第2610地区幹事 奥野博之 様

国際ロータリー第2610地区筆頭副幹事 宮本良樹 様



出席報告 小浜出席委員長

本日の出席者 29名 出席率 78.37% 欠席者 8名

メイクアップ済み 辻 (浩) 君

2835回のメイクアップ なし

2835回の修正出席率 81.08% →81.08%

会長挨拶 魚津西ロータリークラブ会長 横谷正晴 様

亜熱帯地域かと思われるくらい暑い日が続いています。本日は中尾ガバナーをお迎えしての3クラブ合同夜間例会です。

3クラブとも会員が減少し、組織も硬直化してきているのではないかと思います。ロータリーも改革していかなければならない時期に来ています。中尾ガバナーが地区テーマに掲げられた「Think, Change and Love Rotary」こそが今のロータリーに必要なと思います。

今日は中尾ガバナーのたつての願いで夜間例会にしました。



ニコボックスの報告

公式訪問いたしました。ありがとうございました。

第2610地区ガバナー 中尾哲雄 様

第2610地区幹事 奥野博之 様

第2610地区筆頭副幹事 宮本良樹 様

3氏より三クラブに頂きました。

卓話 第2610地区ガバナー 中尾哲雄 様

16番目、三つ一緒、ふるさとでの公式訪問、うれしくて光栄です。

9月4日に五つ一緒にやる。66のクラブを37回で訪問する。

いろんな例会がある。鐘の代わりに銅鑼を鳴らす。全員が「いただきます」「ごちそうさま」をしたのには感動した。当たり前なのに感動し、心



が洗われることに日本の社会の慣行がおかしくなってきたと思う。



奉仕と友情 RI 田中会長は30年ぶり、日本から三人目の会長です。新潟県栃尾市生まれ、八人兄弟、貧しい暮らし、新制中学を卒業して集団就職、東京の墨田区のガラス工場に就職。苦勞をされ、英語をマスターし、世界のロータリーの会長になられた。私は情報システムの提供で長いお付き合いをさせてもらっている。

彼の掲げている「奉仕を通じて平和を」の平和は、戦争に対する平和のように大きなものではなく、家庭・地域・ロータリー・地域の中で仲良くが積み重なり国全体が平和になることである。

ロータリーの本当の目的は仕事を通じて社会に貢献することだと思っている。また、なぜポール・ハリスがロータリーを作ったのかを質問すると「一人でさみしかった」と答えている。知人の集まりではなく、友人の集まりである。しかし、友情だけで100年続くはずがないので、基本的な理念として奉仕があるからだと思う。

崖っぷち ロータリーは崖っぷちにある。会員数は減り続けている。昨日発表の日本の人口で自然減が20万人になっている。かつて日本の人口は世界の3%だったが、もう10年もすると1%になってしまう。ロータリーの寄付についても真剣に考えなおさねばならない。世界の経済の日本のシェアは18%であったが、今、中国の経済力が高まり、補助してもらわねばならないのに、寄付している。

若い人が入る魅力を作らねばならない。個性が個人の権利になっている。先日、中学校の校長先生方の大会で講演し、宇奈月事件（宇奈月温泉の湯を引く途中の地所を購入した人が所有権を主張し争う）について質問した。判決は「私権は公共の福祉に従う」であった。事件後、法律改正が行われ、私権の濫用はこれを許さずとさらに私権を制限した。ロータリーに若い人が入ってこないのは、人口の減少、経済的理由等もあるが、自分中心の考え方もある。

合同例会 合同例会は、乾杯の前に、20分～30分、その一年そのクラブがやった事業について、自慢すべき報告の場を設けることに意義がある。

改めたいこと、思い出等

- ・ガバナーがサンディエゴに集められた。12月末の会員数は地区名と同じ2,610名であった。7月末は3,300名から2,600名に減っている。お土産の交換があるが、捨てて置いてくるガバナーもいるお土産交換を改めやめましょう、お土産に使うお金を財団に寄付にしようとして会長に提案してきた。

- ・「御国に捧げん」は古すぎる日本語である。四つのテストの目的、綱領も直訳であり、愛すべき日本語に直しましょう。四つのテストの「みんなのために」はあり得ない。「そこにいる人みんなのために」なるかどうかである。

- ・特別会計は会長から会長に引き継がれ何をやられているか分からない。特別会計を廃止して本当の特別会計をつくる。

- ・去年ロータリー40年になり、海外メークアップ51回、海外で卓話も3回している。何回もウィーンに行ったが、ヨハンシュトラウスのブルードナウと習っていたが汚いドナウだった。卓話の最後で質問したら、会長が最後の謝辞のなかで「ドナウがきれいに見えるのは盲目の恋に陥った恋人だけである」と答えられた。印象的な話であった。

まとめ ロータリーはきれいではない。直していかなければロータリーは生き残れない。十分にロータリーを直す可能性はある。ロータリーは地域社会の中で役割を果たすために何とか直していかなければならない。

地区大会の講師について

伊那食品工業株式会社の塚越寛氏には「みんなのために」のテーマで講演していただく。50年を突破して連続増収増益の会社を作り、その間、社会貢献をしている話を聞いていただきたい。

熊本県知事の蒲島郁夫氏は「農協職員から東大教授へ」と話題になった。農協職員からピックアップされてアメリカで研修、結婚後、ハーバード大学で法学を学び帰国し、東大教授になられた。

チェンジ ポール・ハリスは「世界は常に変化する。ロータリーはこの世界とともに変化し成長していかなければならない。」と言ってきた。まさにチェンジです。日本のロータリーは何回言われてもそのまま何十年続いている。変えていかなければならない。微力であるが、仲間と知り合い、知り合いを深め、ガバナーとして努力していきたい。ふるさとで話ができ光栄です。

閉会点鐘

懇親会

開会の挨拶 野澤魚津ロータリークラブ会長

第3部です。合同夜間例会も懇親会にプラスアルファの企画など少しずつ工夫あるロータリー活動にしていけたらと思っています。楽しく、和やかに懇親会を始めましょう。



乾杯 中尾哲雄ガバナー 様

「地酒で乾杯する会議」の会長をしています。酒は百薬の長です。3クラブの発展を祈念して乾杯。



手に手つないで



閉会の挨拶 高縁不二子滑川ロータリークラブ会長 様

大変な崖っぷちの時期です。思いを同じくし、切磋琢磨していきましょう。

あとがき

中尾ガバナーを迎え、ガバナーの卓話から「崖っぷち」、「チェンジ」等がキーワードとしてよく使われた。

チェンジに関し、管理職試験の設問を思い出した。

「教育における不易と流行について述べよ」

不易と流行は松尾芭蕉の言葉だったか、確信がもてない。